

令和元年度 施策評価シート

基本目標		新しい事業が起き、人が集まる「すみだ」をつくる
政策	320	こだわりをもった魅力ある商業・サービス業の集積を進める
施策	322	地域の資源を活かした、特色ある商業空間を創出する
施策の目標	活気にあふれた商業空間で区民や観光客が快適に楽しんでいる一方で、買物弱者へのきめ細かな対応等、商店街や個店が地域とのつながりをより深めています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指 標 名	「誰かを誘って食事や買い物をしたい場所が区内にある」区民の割合									
	基準年 (H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					75.0%					80.0%
実績	69.8%									
指 標 名	区政全般に対する区民の満足度の点数									
	基準年 (H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					0.97					1.12
実績	0.83									

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移（千円）	
区内商業空間の魅力が向上し、区内で食事や買い物をする区民が増加する。 区周辺地域の商業空間以上の魅力向上が必要。	H28	62,208
	H29	74,219
	H30	76,831

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	各事務事業が相対的に順調に機能しているため。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
○	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
見直しが必要な事業はあるものの、目標とのかい離は認められず順調に推移していると判断できるため。	
【今後の具体的な方針】	
個店支援や空き店舗対策施策の充実を図りつつ、効率的な補助金交付に努める。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳 出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳 出 総 額 (千円)	施策への関連性	目的に対する指標	直近の評価内容
						年度目標値	評価結果
						年度実績値	評価対象年度
1	地域力を育む商業空間づくり推進事業	22,636	4,922	27,558		200	改善・見直し
						204	平成30年度
2	商店街連合会補助事業	16,995	4,922	21,917		41	改善・見直し
						42	平成30年度
3	新・商業活性化コラボレーション事業	5,911	11,812	17,723		8	廃止
						6	平成30年度
4	新・元気を出せ商店街事業費	23,103	1,969	25,072		24	改善・見直し
						24	平成30年度
5	ワンモール/ワントライ作戦推進事業	1,107	3,937	5,044		3	改善・見直し
						2	平成30年度
6	墨田区商店街育成補助事業	2,731	4,922	7,653		8	改善・見直し
						4	平成30年度
7	明るい商店街づくり事業	4,348	4,922	9,270		20	現状維持
						20	平成30年度
8							
9							
10							
11							
12							

令和元年度 事務事業評価シート

施策	322	地域の資源を活かした、特色ある商業空間を創出する	部内優先順位			
事業名	地域力を育む商業空間づくり推進事業					1
目的	商店会や個店を対象とした商業コーディネーター業務委託、商店会を対象とした商店街巡回相談業務委託など、事業者の多様な課題・ニーズを細かく捉え、柔軟に対応することで魅力的な店舗の集積やエリアマネジメントが取り入れられている特色ある商業空間づくりを進める。					主管課・係（担当）
						産業振興課産業振興担当
						03-5608-6187
対象者	区内商店会、個店					
根拠法令 関連計画	地域力を育む商業空間づくり振興プラン 商店魅力アップ支援事業実施要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	4	
事業内容	以下事業を展開することで、事業者の多様な課題・ニーズを細かく捉え、柔軟に対応することで特色ある商業空間づくりを推進。 (1) 商業コーディネーター業務委託事業 4ブロック（京島、曳舟、両国、錦糸町）の地域を中心に、課題解決に導く。 (2) 商店街巡回相談業務委託事業 区内の商店会を巡回し、潜在的な課題の抽出及び課題解決策の考察・提案。 (3) 商業ニーズ調査委託事業 商圏調査や住民ニーズ等、課題に対する商業調査を実施。 (4) 特色ある商業空間創出事業 補助金に依存しない収益事業等をコーディネート・実施。 (5) 商店魅力アップ支援事業 区内既存個店を対象に、魅力アップに向けた支援を行い、魅力的な商店を育成。					
経過	開始年度	平成29年度	終了予定	令和3年度		
	【28年度末】 前プログラムの計画期間が終了・新プラン「地域力を育む商業空間づくり振興プラン」策定 【29年度】 地域力を育む商業空間づくり推進事業 開始					
議会質問 の状況	【平成30年 決特】都市計画マスタープランとの連動について					
その他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 毎月、商業担当者連絡会を開催し、商業コーディネーターや商店街巡回相談員などと各種情報共有を図っている。					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額（事業費）					25,380	22,936	22,500
決算額（令和元年度は見込み）					23,491	22,636	22,500
財源	国						
	都				5,000	5,000	5,000
	その他						
一般財源		0	0	0	18,491	17,636	17,500
執行率（％）		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	92.6%	98.7%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			令和元年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	魅力アップ支援	192	報償費	魅力アップ支援	216	補助金	魅力アップ支援	7,500
補助金	〃	6,868	補助金	魅力アップ支援	6,269	委託料	商業空間づくり	15,000
〃	ニーズ調査	300	〃	ニーズ調査	300			
委託料	商業空間づくり	16,131	委託料	商業空間づくり	15,851			

事業の成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	商店街巡回相談数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		200	R3	目標		200	200	200
				実績		206	204	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	200	200				
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	区内商店街を巡回して商店会関係者から相談を受け、各商店街の歴史や地域性を踏まえて詳しく分析することにより、商店街の潜在的な課題の抽出及び課題解決策の考察・提案を行う指標となるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	商店魅力アップ支援事業の支援店舗				単位	店舗
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		10	R3	目標		10	10	10
				実績		18	17	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	10	10				
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	効果的な個店支援を実施することで、魅力的な個店の集積を通じ、消費者が何度も行きたいと思うにぎわいのある商業空間を創出できる指標となるため。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	環境変化を鑑み5年間の計画となっているため、時代に即した支援をし地域力を高めていく取組が必要である。事業者の多様な課題・ニーズを細かく捉え、効果的な施策を展開し柔軟に対応しながら特色ある商業空間づくりを進める。

課題・問題点
(1)商業コーディネーター業務委託事業 個店や商店街へのヒアリング内容を共有、解決しうる支援ネットワークの構築。 (2)商店街巡回相談業務委託事業 解決策を図り商店街に寄り添った提案の実施。 (3)商業ニーズ調査委託事業 調査場所の選定。 (4)特色ある商業空間創出事業 補助金に依存しない収益事業等をコーディネート・実施。 (5)商店魅力アップ支援事業 補助金メインでないスキームを申請者に十分理解してもらう。

補 助 金 名 称	商店魅力アップ支援事業			主管課・係（担当）	
根拠法令	商店魅力アップ支援事業実施要綱			産業振興課産業振興担当	
補助概要	意欲ある区内の商店を対象に、魅力アップに向けた支援を行うことにより、魅力的なお店を育て、その集積を通じ消費者が「何度も行きたい」と思うにぎわいのある商業空間の創出を目指す。			03-5608-6187	
目 的	意欲ある区内の商店を対象に、魅力アップに向けた支援を行うことにより、魅力的なお店を育て、その集積を通じ消費者が「何度も行きたい」と思うにぎわいのある商業空間の創出を目指す。				
対 象	区内で引き続き１年以上営んでいる商店。				
基 準	区独自基準				
補助条件	次の各号に掲げるものは支援対象商店から除外するものとする。 (1) 前年度の都道府県民税又は市区町村民税の滞納がある者 (2) チェーン店又はフランチャイズ店 (3) 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律(昭和23年法律第122号)第2条に規定する営業又はこれに類する風俗営業等を行っている者 (4) 墨田区暴力団排除条例（平成24年墨田区条例第37号）第2条第1号に規定する団体又は同条第2号及び第3号に規定する者 (5) 区が実施する商店街補助事業の補助金の交付を受けている、又は受けることが決まっている者 (6) 過去に本事業の補助金交付を受けたことがある者				
経 過	開始年度	平成29年度	終了予定	令和3年度	
	平成27年度 魅力ある個店づくり創出事業の開始 平成28年度 対象エリアの拡大 平成28年度末 事業終了 平成29年度 商店魅力アップ支援事業の開始				
議会質問 の状況	特になし				
その他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 4月 募集の周知 5月 募集、経営プラン作成支援（すみだビジネスサポートセンターと協力） 7月 経営プラン実施支援の募集 8月 交付決定 以後、実績報告・アフターフォロー				

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算額（事業費）					8,080	7,440	7,500
決算額（令和元年度は見込み）					7,060	6,785	7,500
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		0	0	0	7,060	6,785	7,500
執行率（％）		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	87.4%	91.2%	100.0%

補助金の 成果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	支援店舗の新規商店会加盟数				単 位	店舗	
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
		2	R3	目標		2	2	2	
				実績		3	2		
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		目標	2	2					
		実績							
		指標の選定理由及び目標値の理由							
	補助割合を商店会加盟店舗2/3、未加盟店舗1/2とすることで、商店会加入促進にもなり、にぎわいのある商業空間の創出につながる指標となるため。								
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	商店魅力アップ支援事業の支援店舗				単 位	店舗	
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
		10	R3	目標		10	10	10	
				実績		18	17		
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		目標	10	10					
		実績							
		指標の選定理由及び目標値の理由							
	効果的な個店支援を実施することで、魅力的な個店の集積を通じ、消費者が何度も行きたいと思うにぎわいのある商業空間を創出できる指標となるため。								
	評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
	改善・見直しのうえ継続		地域ごとに商業者の置かれた環境を踏まえた支援を提供して、魅力的な個店の増加が地域の核となるよう促進する。魅力アップに向けた支援を行うことにより、魅力的な個店の育成・集積をしていくことで特色ある商業空間づくりを推進していく。						

課題・問題点	
補助金メインでないスキームを申請者に十分理解してもらい、魅力ある店舗へレベルアップしてもらう。	

補 助 金 名 称	商業ニーズ調査			主管課・係（担当）	
根拠法令	特になし			産業振興課産業振興担当	
補助概要	東武曳舟駅西口近辺で小売業・サービス業（チェーン店を除く）を経営している個店に訪問し、ヒアリングを行う。			03-5608-6187	
目 的	東武曳舟駅西口の商業活性化のために、東武曳舟駅西口近辺の個店群により、商店会新結成が可能であるかの意識等についてアンケート調査を行い、東武曳舟駅西口駅前の商業活性化に関する基礎的知見とし、加えて望ましい方向性とビジョンを示すこと。				
対 象	東武曳舟駅西口近辺で小売業・サービス業（チェーン店を除く）を経営している個店。				
基 準	区独自基準				
補助条件	東武曳舟駅西口駅前開発による影響と、新商店会結成に対する意向を基本として、その他基礎的知見とビジョン策定のために必要な項目。				
経 過	開始年度	平成29年度	終了予定	令和3年度	
	平成29年度 平成30年度	押上ガーデン通り、玉の井いろは通り、十間橋通り（一部委託にて実施） 東武曳舟駅西口			
議会質問 の状況	特になし				
その他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 毎月、商業担当者連絡会を開催し、商業コーディネーターや商店街巡回相談員などと各種情報共有を図っている。その中で挙げた課題等に対し、適切な調査をすることで解決を目指す。				

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算額（事業費）					1,000	1,000	1,000
決算額（令和元年度は見込み）					1,000	300	1,000
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		0	0	0	1,000	300	1,000
執行率（％）		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	30.0%	100.0%

補助金の 成果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	ニーズ調査の実施回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		2	R3	目標		2	2	2
				実績		3	1	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2	2				
		実績						
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		商業コーディネーターや商店街巡回相談員などと各種情報共有した内容や課題に対して、解決へつながるため。						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	商店会の結成				単 位	会
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1	R3	目標		1	1	1
				実績		1	0	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1	1				
		実績						
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		事業の実施により、商店会の結成につながることが地域経済の活性化につながるため。						
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
改善・見直しのうえ継続		毎月、商業担当者連絡会を開催し、商業コーディネーターや商店街巡回相談員などと各種情報共有を図っているところではあるが、商店街はもとより地域の声を広く集約できるようにしていく。						

課題・問題点	
地域課題は多種多様のため、商業振興にそぐわないようなニーズの存在も考えられる。	

施 策	322	地域の資源を活かした、特色ある商業空間を創出する				部内優先順位
事 業 名	商店街連合会補助事業					2
目 的	必要な補助金を交付することにより、事業の運営を円滑ならしめ、商店街の充実と発展を図り、地域経済の活性化に寄与することを目的とする。					主管課・係（担当）
						産業振興課産業振興担当
						5608-6187
対 象 者	墨田区商店街連合会・墨田区商店街振興組合連合会					
根拠法令 関連計画	墨田区商店街連合会補助金交付要綱・墨田区商店街振興組合連合会補助金交付要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	2	
事業内容	【墨田区商店街連合会】 （１）商店街の振興事業のうち、広域的に行われるイベント事業 （２）商店街の振興事業のうち、商店街のPR及び活動支援を行う事業 （３）従業員の福利厚生事業及び経営者・従業員の教育支援事業 【墨田区商店街振興組合連合会】 （１）講習・講演等の実施に関する事業 （２）情報の収集及び提供に関する事業 （３）組織安定化及び強化に関する事業					
経 過	開始年度	昭和48年		終了予定	未定	
	昭和48年度 墨田区商店街連合会補助金交付要綱の制定 平成21年度 プレミアム商品券発行、補助要綱改正（実施細目の追加） 平成24年度 プレミアム商品券発行、ソラのねマルシェ開始 平成27年度 プレミアム商品券発行、補助要綱改正（景品購入費の見直し） 平成30年度 墨田区商店街振興組合連合会補助金交付要綱の制定					
議会質問 の 状 況	【平成30年3定】 墨田区商店街連合会と連携した最適な端末導入の検討について					
そ の 他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 6～7月 補助金交付 10月 商業まつり 3月 ソラのねマルシェ					

予算・決算額推移（千円）		2 6 年度	2 7 年度	2 8 年度	2 9 年度	3 0 年度	令和元年度
予算現額（事業費）		14,095	17,095	17,095	17,095	17,095	22,095
決算額（令和元年度は見込み）		14,095	17,095	17,071	17,095	16,995	22,095
財 源	国						
	都	2,933	2,834	2,901	2,834	2,833	2,833
	その他						
一般財源		11,162	14,261	14,170	14,261	14,162	19,262
執行率（％）		100.0%	100.0%	99.9%	100.0%	99.4%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成 2 9 年度（決算）			平成 3 0 年度（決算）			令和元年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
補助金	商業まつり等	17,095	補助金	商業まつり等	17,095	補助金	商業まつり等	22,095

事業の成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	商業まつり参加店数				単位	店
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		400	R7	目標	400	400	400	400
				実績	327	300	300	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	400	400	400	400	400	400
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	商業まつりは区商連が開催する商店会をアピールする大きなイベントで、地域の消費者にも定着したイベントとなっているため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	加盟商店会数				単位	商店会
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		41	R7	目標	41	41	41	41
				実績	41	41	42	42
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	41	41	41	41	41	41
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	一定の商店会加盟数を保つことで、安定した商業空間の創出が期待できるため。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	商店街への補助金については、適正な執行を行い、商店街の組織強化と商店会会員のモチベーション維持を図る。また、オリンピック・パラリンピックに伴う商店街観光事業の展開を見据え、改善を図りながら、継続した支援を行う。

課題・問題点
商業まつり及びソラのねマルシェはこれまで好評を得てきたが、当イベントで区内商店街をさらにPRしていく必要がある。

補 助 金 名 称	商店街連合会補助事業				主管課・係（担当）	
根拠法令	墨田区商店街振興組合連合会補助金交付要綱・墨田区商店街連合会補助金交付要綱				産業振興課産業振興担当	
補助概要	【墨田区商店街連合会】（１）商店街の振興事業のうち、広域的に行われるイベント事業（２）商店街の振興事業のうち、商店街のPR及び活動支援を行う事業（３）従業員の福利厚生事業及び経営者・従業員の教育支援事業 【墨田区商店街振興組合連合会】（１）講習・講演等の実施に関する事業（２）情報の収集及び提供に関する事業（３）組織安定化及び強化に関する事業				5608-6187	
目 的	必要な補助金を交付することにより、事業の運営を円滑ならしめ、商店街の充実と発展を図り、地域経済の活性化に寄与することを目的とする。					
対 象	墨田区商店街連合会・墨田区商店街振興組合連合会					
基 準	区独自基準					
補助条件	墨田区商店街連合会・墨田区商店街振興組合連合会が行う事業					
経 過	開始年度	昭和48年	終了予定	未定		
	昭和48年度 墨田区商店街連合会補助金交付要綱の制定 平成21年度 プレミアム商品券発行、補助要綱改正（実施細目の追加） 平成24年度 プレミアム商品券発行、ソラのねマルシェ開始 平成27年度 プレミアム商品券発行、補助要綱改正（景品購入費の見直し） 平成30年度 墨田区商店街振興組合連合会補助金交付要綱の制定					
議会質問 の状況	【平成30年3定】 墨田区商店街連合会と連携した最適な端末導入の検討について					
その他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 6～7月 補助金交付 10月 商業まつり 3月 ソラのねマルシェ					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算額（事業費）		14,095	17,095	17,095	17,095	17,095	22,095
決算額（令和元年度は見込み）		14,095	17,095	17,071	17,095	16,995	22,095
財源	国						
	都	2,933	2,834	2,901	2,834	2,833	2,833
	その他						
一般財源		11,162	14,261	14,170	14,261	14,162	19,262
執行率（％）		100.0%	100.0%	99.9%	100.0%	99.4%	100.0%

補助金の 成果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	商業まつり参加店数				単 位	店
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		400	R7	目標	400	400	400	400
				実績	327	300	300	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標						
		実績						
		指標の選定理由及び目標値の理由						
	商業まつりは区商連が開催する商店会をアピールする大きなイベントで、地域の消費者にも定着したイベントとなっているため。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	加盟商店会数				単 位	商店会
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		41	R7	目標	41	41	41	41
				実績	41	41	42	42
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	41	41	41	41	41	41
		実績						
		指標の選定理由及び目標値の理由						
	一定の商店会加盟数を保つことで、安定した商業空間の創出が期待できるため。							
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
改善・見直しのうえ継続		商店街への補助金については、適正な執行を行い、商店街の組織強化と商店会会員のモチベーション維持を図る。また、オリンピック・パラリンピックに伴う商店街観光事業の展開を見据え、改善を図りながら、継続した支援を行う。						

課題・問題点
商業まつり及びソラのねマルシェはこれまで好評を得てきたが、当イベントで区内商店街を更にPRしていく必要がある。

施 策	322	地域の資源を活かした、特色ある商業空間を創出する				部内優先順位
事 業 名	新・商業活性化コラボレーション事業					3
目 的	商店会と団体との連携を通じ、商店会が直面する諸課題に取り組む事業に対して、補助金を交付することにより、区内商店街の活性化を図る。					主管課・係（担当）
						産業振興課
						03-5608-6187
対 象 者	1. 株式会社、一般社団法人、特定非営利活動法人等の区内の民間事業者 2. 個人または区内で活動する任意団体で商店街の活性化に資する活動を行う団体					
根拠法令 関連計画	新・商業活性化コラボレーション事業補助金交付要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	3	
事業内容	新・商業活性化コラボレーション事業補助金に基づき、区内企業等の団体や個店グループが区内商店街と連携し、商店街が直面する課題に向けた取組に対して、経費を助成することにより商店街を活性化し、区内商業の振興を図る。 補助率：補助対象経費の10/10（補助限度額100万円）					
経 過	開始年度	平成25年度		終了予定	平成30年度	
	平成24年度に実施した区内商業実態調査の結果、①大型店との差別化②サービスの見直し③情報発信力の強化④空き店舗対策の取組⑤イベントの見直し等の課題が抽出された。 そこで、外部資源の活用による商店街の活性化を図るため、商店会と連携して課題に取り組む団体を補助することとした。 平成25年度 新・商業活性化コラボレーション事業補助金交付要綱制定 平成28年度 要綱一部改正 平成29年度 要綱一部改正（補助対象に個店グループを追加）					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） ・平成30年度末で事業終了⇒東京都で、地域団体と商店街がコラボした地域連携型商店街事業を展開しているため、本区も地域連携型商店街事業を創設し、都と区で4/5(都：2/5、区：2/5)を補助する。					

予算・決算額推移（千円）		2 6 年度	2 7 年度	2 8 年度	2 9 年度	3 0 年度	令和元年度
予算現額（事業費）		10,000	8,000	8,000	7,000	7,000	
決算額（令和元年度は見込み）		6,775	5,302	7,372	5,716	5,911	
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		6,775	5,302	7,372	5,716	5,911	0
執行率（％）		67.8%	66.3%	92.2%	81.7%	84.4%	0.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成 2 9 年度（決算）			平成 3 0 年度（決算）			令和元年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
負担金補助及び交付金	イベント補助	5,716	負担金補助及び交付金	イベント補助	5,911			0
								0
								0
								0
								0

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	補助金交付団体				単位	団体
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		8	30	目標	8	8	8	
				実績	8	6	6	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標						
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	団体が提案した独自の取り組みがどの程度行われたのかが分かるため。過去に行った取組は事業対象外となるため、年々選択肢が少なくなるが、提案する団体が減少せず現状維持することを目指した。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	連携した商店会				単位	商店会
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		8	30	目標	8	8	8	
				実績	8	6	6	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標						
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	団体と連携して活性化に取り組んだ商店会数がわかるため。目標値の理由は上記手段に対する指標と同じである。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
廃止を検討	本事業は、商店街単独ではできないような、民間活力を活用した新しい事業の実現を支援し、商業の活性化を図るものであったが、近年では同じ団体や商店会で例年似たような事業を行うことが目立ってきた。今後は、外部団体との連携という趣旨は継続しつつ、新事業へと移行し、課題解決に向けた取組を支援する。

課題・問題点
平成25年に事業が開始されて以降、本事業を活用した様々な取組が実施されてきたが、近年では、同じ団体と商店会のコラボレーションにより事業を実施するケースが目立ち始めている。 また、事業内容についても、過去の事業と類似したものが増えている。本事業の趣旨を鑑み、同じ内容の事業については申請を受け付けていないが、それでも内容を変えつつ申請してくるケースがあり、多様性がなくなっている。

補助金名称	新・商業活性化コラボレーション事業補助金				主管課・係（担当）	
根拠法令	新・商業活性化コラボレーション事業補助金交付要綱				産業振興課	
補助概要	補助対象経費の10/10(1,000円未満切捨て) 補助限度額100万円				03-5608-6187	
目的	商店会と団体との連携を通じ、商店会が直面する諸課題に取り組む事業に対して、補助金を交付することにより、区内商店街の活性化を図る。					
対象	1. 株式会社、一般社団法人、特定非営利活動法人等の区内の民間事業者 2. 個人または区内で活動する任意団体で商店街の活性化に資する活動を行う団体					
基準	区独自基準					
補助条件	上記対象団体が、以下（１）～（３）と連携し、商店会が直面する諸課題に取り組む事業であること。 （１） 墨田区商店街振興組合連合会又は墨田区商店街連合会に加盟している商店会 （２） 墨田区商店街振興組合連合会及び墨田区商店街連合会 （３） 墨田区商店街連合会に加盟している商店会に属する個店の事業主を代表とする１０店舗以上の個店グループ ただし、以下（１）～（３）に該当する場合は交付対象外とする。 （１） 内容が経常的な性格を有する事業 （２） 区のほかの補助金等を一部財源とする事業 （３） 事業に係るすべての業務を委託する事業					
経過	開始年度	平成25年度		終了予定	平成30年度	
	平成２４年度に実施した区内商業実態調査の結果、①大型店との差別化②サービスの見直し③情報発信力の強化④空き店舗対策の取組⑤イベントの見直し等の課題が抽出された。 そこで、外部資源の活用による商店街の活性化を図るため、商店会と連携して課題に取り組む団体を補助することとした。					
	平成２５年度 新・商業活性化コラボレーション事業補助金交付要綱制定 平成２８年度 要綱一部改正 平成２９年度 要綱一部改正（補助対象に個店グループを追加）					
議会質問の状況						
その他特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） ・平成30年度末で事業終了⇒東京都で、地域団体と商店街がコラボした地域連携型商店街事業を展開しているため、本区も地域連携型商店街事業を創設し、都と区で4/5(都：2/5、区：2/5)を補助する。					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算額（事業費）		10,000	8,000	8,000	7,000	7,000	
決算額（令和元年度は見込み）		6,775	5,302	7,372	5,716	5,911	
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		6,775	5,302	7,372	5,716	5,911	0
執行率（％）		67.8%	66.3%	92.2%	81.7%	84.4%	0.0%

補助金の 成果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	補助金交付団体				単 位	団体
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		8	30	目標	8	8	8	
				実績	8	6	6	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標						
		実績						
		指標の選定理由及び目標値の理由						
	団体が提案した独自の取り組みがどの程度行われたのかが分かるため。過去に行った取組は事業対象外となるため、年々選択肢が少なくなるが、提案する団体が減少せず現状維持することを目標とした。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	連携した商店会				単 位	商店会
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		8	30	目標	8	8	8	
				実績	8	6	6	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標						
		実績						
		指標の選定理由及び目標値の理由						
	団体と連携して活性化に取り組んだ商店会数がわかるため。目標値の理由は上記手段に対する指標と同じである。							
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
廃止を検討		本事業は、商店街単独ではできないような、民間活力を活用した新しい事業の実現を支援し、商業の活性化を図るものであったが、近年では同じ団体や商店会で例年似たような事業を行うことが目立ってきた。今後は、外部団体との連携という趣旨は継続しつつ、新事業へと移行し、課題解決に向けた取組を支援する。						

課題・問題点
平成25年に事業が開始されて以降、本事業を活用した様々な取組が実施されてきたが、近年では、同じ団体と商店会のコラボレーションにより事業を実施するケースが目立ち始めている。 また、事業内容についても、過去の事業と類似したものが増えている。本事業の趣旨を鑑み、同じ内容の事業については申請を受け付けていないが、それでも内容を変えつつ申請してくるケースがあり、多様性がなくなっている。

施 策	322	地域の資源を活かした、特色ある商業空間を創出する	部内優先順位	
事 業 名	新・元気をさせ商店街事業費			4
目 的	「墨田区新・元気をさせ商店街事業補助金交付要綱」に基づき、商店会等（以下、「商店会という。」）が実施するイベント事業に必要な経費の一部（都：1/3 区：1/3）を助成することで、区内商店会の経営の安定及び発展並びに地域経済の活性化を図る。			主管課・係（担当）
				産業振興課産業振興担当
				5608-6187
対 象 者	(1) 墨田区商店街振興組合連合会又は墨田区商店街連合会に加盟する商店街 (2) 墨田区商店街振興組合連合会及び墨田区商店街連合会			
根拠法令 関連計画	墨田区新・元気をさせ商店街事業補助金交付要綱			
実施基準	都基準	実施方法	直営	人員体制・委託先
事業内容	(1) 次号に該当するものを除き、商店街等1事業当たり、補助対象経費の3分の2以内(1,000円未満切捨て)又は補助限度額300万円のいずれか低い額。ただし、会則等(会則又は規約、役員名簿並びに24か月分の会計に係る決算書及び関係書類をいう。)を有していない商店街にあっては、補助限度額を40万円とする。 (2) 東京都商店街チャレンジ戦略支援事業において小額支援事業として認められたものについては、補助対象経費の9分の8以内の額(1,000円未満切捨て)又は、88万8千円のいずれか低い額。 (3) 複数の商店街等が共同で補助事業を行う場合においては、各商店街等の前2号の額のそれぞれの範囲内の額を合計した額。 (4) 商店街が直面する課題に取り組み、区内商業の振興に資すると区長が特に必要と認めたものについては、第1号から第3号までに規定する補助金額に加えて当該補助対象経費の6分の1以内の額(1,000円未満切捨て)を補助することができる。			
経 過	開始年度	平成15年度	終了予定	未定
	平成15年度 東京都・公社事業を統合し「新・元気をさせ！商店街事業」開始 平成18年度 都要綱改正。補助対象経費100万円以下の場合の都区負担率が変わる。(旧:都2/3 区負担なし→新:都1/2 区1/6) 平成20年度 区要綱を改正し、一事業あたりの補助限度額を150万→300万円に増額。 平成25年度 区要綱を改正し、商店会の課題に取り組む事業の補助金に加え、当該補助対象額の1/6以内の額を上乗せ。			
議会質問 の 状 況	【平成30年 決特】毎年恒例のイベントについて			
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 4月:交付申請 8月:交付決定 以後実績報告。 平成31年度から東京都の事業名に合わせて「墨田区商店街チャレンジ戦略支援事業」とし、墨田区商店街育成補助事業と統合した。			

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額（事業費）		28,467	30,000	30,000	28,329	28,400	27,000
決算額（令和元年度は見込み）		24,770	25,680	24,571	23,482	23,103	25,000
財 源	国						
	都	13,736	14,265	13,437	12,897	12,553	15,209
	その他						
一般財源		11,034	11,415	11,134	10,585	10,550	9,791
執行率（％）		87.0%	85.6%	81.9%	82.9%	81.3%	92.6%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			令和元年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
補助金	イベント	23,482	補助金	イベント	23,103	補助金	イベント	27,000

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	補助金交付団体数				単位	団体
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		24	R7	目標	24	24	24	24
				実績	23	22	24	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	24	24	24	24	24	24
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	補助金交付団体数により、地域活性化に向けた取組みを行っている団体数が確認できる。団体数の増加が望ましいが、社会情勢を鑑み、現状維持を目標とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	補助事業件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		43	R7	目標	43	43	43	43
				実績	41	42	41	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	43	43	43	43	43	43
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	実施されたイベントの数の確認により、地域社会、区民への波及効果が検証できる。限られたマンパワーの中で、イベントが継続されるよう支援することを目標とした。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	各商店街のイベントの継続に一定の効果があるものと考えているが、消費者ニーズ等に対応したイベントの実施が望まれる。区商連及び商店会の組織強化と商店会員のモチベーションの改善を図りながら、補助金の適正な執行に努めていく。

課題・問題点
実施するイベントについて、ニーズに合った内容やイベントの意義等について毎年の見直しが必要。

補助金名称	墨田区新・元気を出せ商店街事業補助金			主管課・係（担当）	
根拠法令	墨田区新・元気を出せ商店街事業補助金交付要綱			産業振興課産業振興担当	
補助概要	商店街等が行うイベント事業に対し、補助金を交付する。			5608-6187	
目的	「墨田区新・元気を出せ商店街事業補助金交付要綱」に基づき、商店街（会）等（以下、「商店会という。」）が実施するイベント事業に必要な経費の一部（都：1/3 区：1/3）を助成することで、区内商店会の経営の安定及び発展並びに地域経済の活性化を図る。				
対象	(1) 墨田区商店街振興組合連合会又は墨田区商店街連合会に加盟する商店街 (2) 墨田区商店街振興組合連合会及び墨田区商店街連合会				
基準	都基準				
補助条件	東京都商店街チャレンジ戦略支援事業において補助対象事業と認められたもの。				
経過	開始年度	平成15年度	終了予定	未定	
	平成15年度 東京都・公社事業を統合し「新・元気を出せ！商店街事業」開始 平成18年度 都要綱改正。補助対象経費100万円以下の場合の都区負担率が変更。(旧:都2/3 区負担なし→新:都1/2 区1/6) 平成20年度 区要綱を改正し、一事業あたりの補助限度額を150万→300万円に増額。 平成25年度 区要綱を改正し、商店会の課題に取り組む事業の補助金に加え、当該補助対象額の1/6以内の額を上乗せ。				
議会質問の状況	【平成30年 決特】毎年恒例のイベントについて				
その他特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 4月：交付申請 8月：交付決定 以後実績報告。 平成31年度から東京都の事業名に合わせて「墨田区商店街チャレンジ戦略支援事業」とし、墨田区商店街育成補助事業と統合した。				

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算額（事業費）		28,467	30,000	30,000	28,329	28,400	27,000
決算額（令和元年度は見込み）		24,770	25,680	24,571	23,482	23,103	25,000
財源	国						
	都	13,736	14,265	13,437	12,897	12,553	15,209
	その他						
一般財源		11,034	11,415	11,134	10,585	10,550	9,791
執行率（％）		87.0%	85.6%	81.9%	82.9%	81.3%	92.6%

補助金の 成果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	補助金交付団体数				単 位	団体
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		24	R7	目標	24	24	24	24
				実績	23	22	24	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	24	24	24	24	24	24
		実績						
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		補助金交付団体数により、地域活性化に向けた取組みを行っている団体数が確認できる。団体数の増加が望ましいが、社会情勢を鑑み、現状維持を目標とした。						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	補助事業件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		43	R7	目標	43	43	43	43
				実績	41	43	41	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	43	43	43	43	43	43
		実績						
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		実施されたイベントの数の確認により、地域社会、区民への波及効果が検証できる。限られたマンパワーの中で、イベントが継続されるよう支援することを目標とした。						
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
改善・見直しのうえ継続		区商連及び商店会の組織強化と商店会員のモチベーションの改善を図りながら、補助金の適正な執行に努めていく。						

課題・問題点
実施するイベントについて、ニーズに合った内容やイベントの意義等について毎年の見直しが必要。

施 策	322	地域の資源を活かした、特色ある商業空間を創出する				部内優先順位
事 業 名	ワンモール/ワントライ作戦推進事業					5
目 的	一つの商店街（ワンモール）に、一つのブランドを創出する事業、商店街が行う空き店舗活用事業、商店街ホームページ作成事業等に補助金を交付することにより、区内商店街の発展と地域活性化を図ることを目的とする。					主管課・係（担当）
						産業振興課産業振興担当
						03-5608-6187
対 象 者	(1) 墨田区商店街連合会に加盟する商店街(商店会) (2) 墨田区商店街連合会に加盟する複数の商店街(商店会)の連合体 (3) 同一商店街の有志グループ(商店街の了承を得た、3名以上のグループとする。) ただし、有志グループは空き店舗活用事業については対象外とする。					
根拠法令 関連計画	ワンモール/ワントライ作戦推進事業補助金交付要領					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	3	
事業内容	【概要】 補助金の交付の対象となる事業は、商店街が継続的に行う次に掲げる事業である。ただし、他の補助金交付の対象となるような事業、イベント及び類似事業等を除く。 (1) 地域特性や文化資源等を活かし、事業主体が商店街のなかで新たに“独自性”のあるブランドを創出する事業 (2) 空き店舗活用事業 (3) 商店街ホームページ作成事業 (4) その他区長が適当と認める事業					
経 過	開始年度	平成14年度		終了予定	未定	
	平成14年度 「墨田区商店街振興プラン」事業として開始 平成16年度 対象事業の拡充(空き店舗活用、商店街ホームページ作成を追加) 平成25年度 要領を一部改正(補助率1/6上乗せの規定を追加)					
議会質問 の 状 況	【平成30年 決特】 5年間の事業者または場所別実績表					
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) スケジュール:4月:交付申請、交付決定 事業実施後に実績報告 ※空き店舗活用は、東京都の補助がある墨田区商店街チャレンジ戦略支援事業にて対応していく。ただし、東京都として交付対象に認められず、かつ区として支援していくべきとなった場合に限り、本事業にて対応。					

予算・決算額推移（千円）		2 6 年度	2 7 年度	2 8 年度	2 9 年度	3 0 年度	令和元年度
予算現額（事業費）		7,587	7,923	5,394	4,200	2,595	4,000
決算額（令和元年度は見込み）		7,319	7,646	5,274	2,967	1,107	4,000
財 源	国						
	都	2,165	1,510	1,510	550	0	0
	その他						
一般財源		5,154	6,136	3,764	2,417	1,107	4,000
執行率（％）		96.5%	96.5%	97.8%	70.6%	42.7%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成 2 9 年度（決算）			平成 3 0 年度（決算）			令和元年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
補助金	空き店舗対策	2,967	補助金	空き店舗対策	1,107	補助金	空き店舗対策	4,000
役務費	会議用通知	3						

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	補助交付団体数				単位	団体
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		4	R7	目標	4	4	4	4
				実績	5	3	2	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	4	4	4	4	4	4
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	補助金交付団体数により、地域活性化に向けた取組みを行っている団体数が確認できるため。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	補助交付団体のうち、空き店舗活用事業を実施する団体数				単位	団体
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		3	R7	目標	3	3	3	3
				実績	5	3	2	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3	3	3	3	3	3
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	空き店舗活用事業に注視することで、区内商店街に魅力ある個店が今後集積する数値が把握しやすいため。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	本事業に取り組める人的・財政的余裕のある商店会が限られているが、商店街の課題のひとつである空き店舗に関しては、今後とも特に支援していくべきである。商店会が独自企画を行える環境の提供と支援を模索していく。

課題・問題点
(1) 空き店舗がいわゆる「貸し店舗」とならない理由は、家主の事情により様々だが、店舗部分と家主の住居部分が分離できていなかったり等、ハード的な理由で貸出せない物件も多い。 (2) 空き店舗の家賃補助の期間と期間満了後に関して、家賃補助は最長3年間である。期間満了を迎えるまでの間に、店舗経営を安定化させて自立できるようになることを想定している。今後、開業に際し、長期的な計画や具体的な内容を提出してもらうとともに、すみだビジネスサポートセンターに相談してもらうことが考えられる。 (3) 住居と店舗を区分するための改修工事費用を助成検討。

補 助 金 名 称	ワンモール/ワントライ作戦推進事業補助金				主管課・係（担当）	
根拠法令	ワンモール/ワントライ作戦推進事業補助金交付要領				産業振興課産業振興担当	
補助概要	商店街が継続的に行う次に掲げる事業（1）地域特性や文化資源等を活かし、事業主体が商店街のなかで新たに“独自性”のあるブランドを創出する事業（2）空き店舗活用事業（3）商店街ホームページ作成事業（4）その他区長が適当と認める事業				03-5608-6187	
目 的	一つの商店街（ワンモール）に、一つのブランドを創出する事業、商店街が行う空き店舗活用事業、商店街ホームページ作成事業等に補助金を交付することにより、区内商店街の発展と地域活性化を図ることを目的とする。					
対 象	(1) 墨田区商店街連合会に加盟する商店街（商店会） (2) 墨田区商店街連合会に加盟する複数の商店街（商店会）の連合体 (3) 同一商店街の有志グループ（商店街の了承を得た、3名以上のグループとする。） ただし、有志グループは空き店舗活用事業については対象外とする。					
基 準	区独自基準					
補助条件	対象者が継続的に行う特色ある取組に対して補助する。					
経 過	開始年度	平成14年度	終了予定	未定		
	平成14年度 「墨田区商店街振興プラン」事業として開始 平成16年度 対象事業の拡充（空き店舗活用、商店街ホームページ作成を追加） 平成25年度 要領を一部改正（補助率1/6上乗せの規定を追加）					
議会質問 の状況	【平成30年 決特】 5年間の事業者または場所別実績表					
その他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） スケジュール：4月：交付申請、交付決定 事業実施後に実績報告 ※空き店舗活用は、東京都の補助がある墨田区商店街チャレンジ戦略支援事業にて対応していく。ただし、東京都として交付対象に認められず、かつ区として支援していくべきとなった場合に限り、本事業にて対応。					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算額（事業費）		7,587	7,923	5,394	4,200	2,595	4,000
決算額（令和元年度は見込み）		7,319	7,646	5,274	2,967	1,107	4,000
財源	国						
	都	2,165	1,510	1,510	550	0	0
	その他						
一般財源		5,154	6,136	3,764	2,417	1,107	4,000
執行率（％）		96.5%	96.5%	97.8%	70.6%	42.7%	100.0%

補助金の 成果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	補助交付団体数				単 位	団体
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	R1
		4	R7	目標	4	4	4	4
				実績	5	3	2	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	4	4	4	4	4	4
		実績						
		指標の選定理由及び目標値の理由						
	補助金交付団体数により、地域活性化に向けた取組みを行っている団体数が確認できるため。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	補助交付団体のうち、空き店舗活用事業を実施する団体数				単 位	団体
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	R1
		3	R7	目標	3	3	3	3
				実績	5	3	2	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3	3	3	3	3	3
		実績						
指標の選定理由及び目標値の理由								
空き店舗活用事業に注視することで、区内商店街に魅力ある個店が今後集積する数値が把握しやすいため。								
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
改善・見直しのうえ継続		本事業に取り組める人的・財政的余裕のある商店会が限られているが、商店街の課題のひとつである空き店舗に関しては、今後とも特に支援していくべきである。商店会が独自企画を行える環境の提供と支援を模索していく。						

課題・問題点
(1) 空き店舗がいわゆる「貸し店舗」とならない理由は、家主の事情により様々だが、店舗部分と家主の住居部分が分離できていなかったり等、ハード的な理由で貸出せない物件も多い。 (2) 空き店舗の家賃補助の期間と期間満了後に関して、家賃補助は最長3年間である。期間満了を迎えるまでの間に、店舗経営を安定化させて自立できるようになることを想定している。今後、開業に際し、長期的な計画や具体的な内容を提出してもらうとともに、すみだビジネスサポートセンターに相談してもらうことが考えられる。 (3) 住居と店舗を区分するための改修工事費用を助成検討。

施 策	322	地域の資源を活かした、特色ある商業空間を創出する				部内優先順位
事 業 名	墨田区商店街育成補助事業					6
目 的	区内の商店街等が行う商業環境の整備を図り、地域の特性を活かした活力ある商店街(会)となるために行う共同事業の実施に対し、補助金を交付することにより、区内商店街(会)の近代化及び活性化を促すとともに、地域コミュニティの核としての商店街(会)機能の充実に資することを目的とする。					主管課・係(担当)
						産業振興課産業振興担当
						5 6 0 8－6 1 8 7
対 象 者	(1) 墨田区商店街振興組合連合会又は墨田区商店街連合会に加盟する商店街(会) (2) 墨田区商店街振興組合連合会及び墨田区商店街連合会					
根拠法令 関連計画	墨田区商店街育成補助金交付要綱					
実施基準	都基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	4	
事業内容	墨田区商店街育成補助金交付要綱に基づき、商店会が行う商業環境の整備や地域特性を活かした活力ある商店街づくりに対して、経費を一部助成する(補助率は都1/3、区1/3)ことにより商店街の活性化及び地域コミュニティの核としての商店街機能の充実に資する。					
経 過	開始年度	平成15年度		終了予定	未定	
	平成15年度 東京都・公社事業を統合し「新・元気を出せ！商店街事業」開始 墨田区商店街育成補助金交付要綱を全部改正 平成23年度 墨田区商店街育成補助金交付要綱を一部改正(LEDランプへの交換事業補助を開始)					
議会質問 の 状 況	【平成30年3定】商店街のLED街路灯の補修について					
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 4月:交付申請 8月:交付決定 以後実績報告。 平成31年度から東京都の事業名に合わせて「墨田区商店街チャレンジ戦略支援事業」とし、墨田区新・元気を出せ商店街事業と統合する。					

予算・決算額推移(千円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額(事業費)		9,871	1,431	6,601	4,649	2,865	4,800
決算額(令和元年度は見込み)		8,696	866	2,798	2,982	2,731	4,800
財 源	国						
	都	4,257	307	377	1,304	1,215	1,850
	その他						
一般財源		4,439	559	2,421	1,678	1,516	2,950
執行率(%)		88.1%	60.5%	42.4%	64.1%	95.3%	100.0%

予算・決算の内訳(単位:千円)								
平成29年度(決算)			平成30年度(決算)			令和元年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
補助金	環境整備	2,982	補助金	環境整備	2,731	補助金	環境整備	4,800

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	申請件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		10	R7	目標	8	8	8	8
				実績	5	5	4	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	9	9	9	9	9	10
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	申請件数から、本事業が商店会からどの程度認知され、必要とされているか測ることができるため。件数が増えることは、商店街活性化に向けた取組が増えていることと同義であるため、目標値を増加させた。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	実施件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		10	R7	目標	8	8	8	8
				実績	5	3	3	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	9	9	9	9	9	10
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	本事業の目的が商店会から申請があった事業が実施され、商店街の近代化及び活性化に資することであるため。目標値については、上記の手段に対する目標値と同じ理由である。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	特色ある商業空間の実現には、商店街における商業環境の整備や地域資源を活かした取組が重要な役割を担っており、これらの取組を支援する本事業は必要である。一方で、補助率の引上げや提出書類の煩雑さに改善を望む声があり、検討が必要である。この事業は今後も商店会から必要とされるものであるため、今後は、都や他区の事業内容を参考にしつつ、必要に応じて改善見直しを図り、事業を継続していく。

課題・問題点
本事業の近年の実績は、街路灯や看板、空き店舗対策に対する事業がほとんどである。事業対象には、ホームページ作成や活性化計画策定、多言語対応への補助等も含まれているが、現状では活用例が少ない。 特に、多言語対応については、近年の外国人観光客の増加や2020年にオリパラを控えていることを勘案すると、商店会が外国人観光客を客として取り込むためにも、必要性が高いが、対応が進んでいない。

補 助 金 名 称	墨田区商店街育成補助事業			主管課・係（担当）	
根拠法令	墨田区商店街育成補助金交付要綱			産業振興課産業振興担当	
補助概要	墨田区商店街育成補助金交付要綱に基づき、商店会が行う商業環境の整備や地域特性を活かした活力ある商店街づくりに対して、経費を一部助成する（補助率は都1/3、区1/3）ことにより商店街の活性化及び地域コミュニティの核としての商店街機能の充実に資する。			5 6 0 8－6 1 8 7	
目 的	区内の商店街等が行う商業環境の整備を図り、地域の特性を活かした活力ある商店街(会)となるために行う共同事業の実施に対し、補助金を交付することにより、区内商店街(会)の近代化及び活性化を促すとともに、地域コミュニティの核としての商店街(会)機能の充実に資することを目的とする。				
対 象	(1) 墨田区商店街振興組合連合会又は墨田区商店街連合会に加盟する商店街(会) (2) 墨田区商店街振興組合連合会及び墨田区商店街連合会				
基 準	都基準				
補助条件	(補助金の交付対象) 補助金の交付を受けることができる商店街等及び交付対象となる事業とは、次のとおり。 (1) 商店街振興計画づくり助成要綱(昭和55年9月12日墨地商発第117号)に基づく商店街振興計画策定後5年以内の商店街(会)が行う事業 (2) 東京都商店街チャレンジ戦略支援事業において補助対象事業と認められたもの (3) 商店街等が行う、特に地域住民の安心・安全な生活環境を守るための施設整備等の事業で、全国商店街振興組合連合会が経済産業省から補助を受けて実施する「商店街まちづくり事業（まちづくり補助金）」において補助対象事業と認められたもの				
経 過	開始年度	平成15年度	終了予定	未定	
	平成15年度 東京都・公社事業を統合し「新・元気を出せ！商店街事業」開始 墨田区商店街育成補助金交付要綱を全部改正 平成23年度 墨田区商店街育成補助金交付要綱を一部改正（ＬＥＤランプへの交換事業補助を開始）				
議会質問 の状況	【平成30年3定】商店街のＬＥＤ街路灯の補修について				
その他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 4月：交付申請 8月：交付決定 以後実績報告。 平成31年度から東京都の事業名に合わせて「墨田区商店街チャレンジ戦略支援事業」とし、墨田区新・元気を出せ商店街事業と統合する。				

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算額（事業費）		9,871	1,431	6,601	4,649	2,865	4,800
決算額（令和元年度は見込み）		8,696	866	2,798	2,982	2,731	4,800
財源	国						
	都	4,257	307	377	1,304	1,215	1,850
	その他						
一般財源		4,439	559	2,421	1,678	1,516	2,950
執行率（％）		88.1%	60.5%	42.4%	64.1%	95.3%	100.0%

補助金の 成果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	申請件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		10	R7	目標	8	8	8	8
				実績	5	5	4	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	9	9	9	9	9	10
		実績						
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		申請件数から、本事業が商店会からどの程度認知され、必要とされているか測ることができるため。件数が増えることは、商店街活性化に向けた取組が増えていることと同義であるため、目標値を増加させた。						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	実施件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		10	R7	目標	8	8	8	8
				実績	5	3	3	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	9	9	9	9	9	10
		実績						
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		申請件数から、本事業が商店会からどの程度認知され、必要とされているか測ることができるため。件数が増えることは、商店街活性化に向けた取組が増えていることと同義であるため、目標値を増加させた。						
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
改善・見直しのうえ継続		特色ある商業空間の実現には、商店街における商業環境の整備や地域資源を活かした取組が重要な役割を担っており、これらの取組を支援する本事業は必要である。一方で、補助率の引上げや提出書類の煩雑さに改善を望む声があり、検討が必要である。この事業は今後も商店会から必要とされるものであるため、今後は、都や他区の事業内容を参考にしつつ、必要に応じて改善見直しを図り、事業を継続していく。						

課題・問題点
本事業の近年の実績は、街路灯や看板、空き店舗対策に対する事業がほとんどである。事業対象には、ホームページ作成や活性化計画策定、多言語対応への補助等も含まれているが、現状では活用例が少ない。 特に、多言語対応については、近年の外国人観光客の増加や2020年にオリパラを控えていることを勘案すると、商店会が外国人観光客を客として取り込むためにも、必要性が高いが、対応が進んでいない。

施 策	322	地域の資源を活かした、特色ある商業空間を創出する				部内優先順位
事 業 名	明るい商店街づくり事業					7
目 的	商店街が管理する装飾街灯等に要した電気料金の一部を予算の範囲内で補助することにより、商店街の活性化、安全の確保、顧客への利便向上及び商店街のイメージを高めることを目的とする。					主管課・係（担当）
						産業振興課
						03-5608-6187
対 象 者	墨田区商店街連合会に加盟する商店会					
根拠法令 関連計画	明るい商店街づくり事業補助金交付要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	4	
事業内容	明るい商店街づくり事業補助金交付要綱に基づき、商店街が管理する装飾街灯等に要した電気料金の3/4を助成して商店会の経費負担を軽減し、商店街の明るさを維持するための一助となることで、商店街の活性化、安全性確保及びイメージ向上、顧客の利便性に資する。					
経 過	開始年度	平成5年		終了予定		
	平成5年度 事業開始 平成27年度 明るい商店街づくり事業補助金交付要綱を一部改正（補助率を1/2から3/4へUP）					
議会質問 の 状 況	2018年9月三定 商店街のLED街灯の補修について					
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 1月:事業周知 3月:実績報告 4～5月:補助金交付					

予算・決算額推移（千円）		2 6 年度	2 7 年度	2 8 年度	2 9 年度	3 0 年度	令和元年度
予算現額（事業費）		4,290	6,143	6,143	5,513	5,237	4,917
決算額（令和元年度は見込み）		4,092	5,217	4,342	4,664	4,348	4,917
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		4,092	5,217	4,342	4,664	4,348	4,917
執行率（％）		95.4%	84.9%	70.7%	84.6%	83.0%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成 2 9 年度（決算）			平成 3 0 年度（決算）			令和元年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
負担金補助及び交付金	装飾街灯電気料金	4,664	負担金補助及び交付金	装飾街灯電気料金	4,348	負担金補助及び交付金	装飾街灯電気料金	4,917

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	助成した商店会				単位	商店会
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		20	令和7年度	目標	20	20	20	20
				実績	20	20	20	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	20	20	20	20	20	20
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	区が明るい商店街づくりにどの程度貢献しているかを測る基準となるため。装飾街灯を有する商店会数は増減する可能性が高くないため現状を維持することが目標となる。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	商店街が保有する装飾街灯の本数				単位	装飾街灯
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		586	令和7年度	目標	586	586	586	586
				実績	586	590	590	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	586	586	586	586	586	586
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	商店街の装飾街灯を保有することにより生じる負担を軽減し、維持できていることがわかるため。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	商業空間の中心的役割を担う商店街が明るい状態を維持することが極めて有効。今後も維持して助成を行い、必要に応じて他区の類似事業の補助率を参考に適正な補助率を設定していく。

課題・問題点
本区では、商店会の負担を減らすため平成27年度に「明るい商店街作り事業補助金」の見直しを行い、補助率を1／2から3／4に引き上げた経緯があるが、商店街灯を所有する商店会の一部からは、電気料金の全額補助について意見が寄せられている。商店街の電気料金は、商店街灯があることで、安全・安心のまちづくりに貢献していると認められるため補助しているが、本来、商店会の所有物であることを勘案すると、商店会に一定の自己負担を求めることが適切である。また、LED化の観点からも、一定の自己負担を求めることで、電気料金の削減を意識してもらうことが重要である。 このことから、今後は現行の補助率を継続し、必要に応じて他区の動向を伺いながら対応していく。

補助金 名称	明るい商店街づくり事業補助金			主管課・係（担当）	
根拠法令	明るい商店街づくり事業補助金交付要綱			産業振興課	
補助概要	明るい商店街づくり事業補助金交付要綱に基づき、商店街が管理する装飾街灯等に要した電気料金の3/4を助成して商店会の経費負担を軽減し、商店街の明るさを維持するための一助となることで、商店街の活性化、安全性確保及びイメージ向上、顧客の利便性に資する。			03-5608-6187	
目的	商店街が管理する装飾街灯等に要した電気料金の一部を予算の範囲内で補助することにより、商店街の活性化、安全の確保、顧客への利便向上及び商店街のイメージを高めることを目的とする。				
対象	補助の対象は、商店街で管理している装飾街灯、アーケード、アーチ及びこれに類するものに要した電気料金とする。				
基準	区独自基準				
補助条件	商店街で管理している装飾装飾街灯、アーケード、アーチ及びこれに類するものに要した電気料金であること。				
経過	開始年度	平成5年度	終了予定		
	平成5年度 事業開始 平成27年度 明るい商店街づくり事業補助金交付要綱を一部改正（補助率を1/2から3/4へUP）				
議会質問 の状況	2018年9月三定 商店街のLED街灯の補修について				
その他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 1月：事業周知 3月：実績報告 4～5月：補助金交付				

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算額（事業費）		4,290	6,143	6,143	5,513	5,237	4,917
決算額（令和元年度は見込み）		4,092	5,217	4,342	4,664	4,348	4,917
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		4,092	5,217	4,342	4,664	4,348	4,917
執行率（％）		95.4%	84.9%	70.7%	84.6%	83.0%	100.0%

補助金の 成果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	助成した商店会				単 位	商店会
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		20	令和7年度	目標	20	20	20	20
				実績	20	20	20	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	20	20	20	20	20	20
		実績						
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		区が明るい商店街づくりにどの程度貢献しているかを測る基準となるため。装飾街灯を有する商店会数は増減する可能性が高くないため現状を維持することが目標となる。						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	商店街が保有する装飾街灯の本数				単 位	装飾街灯
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		586	令和7年度	目標	586	586	586	586
				実績	586	590	590	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	586	586	586	586	586	586
		実績						
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		商店街の装飾街灯を保有することにより生じる負担を軽減し、維持できていることがわかるため。						
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
現状維持		商業空間の中心的役割を担う商店街が明るい状態を維持することが極めて有効。今後も維持して助成を行い、必要に応じて他区の類似事業の補助率を参考に適正な補助率を設定していく。						

課題・問題点
墨田区では、商店会の負担を減らすため平成27年度に「明るい商店街作り事業補助金」の見直しを行い、補助率を1/2から3/4に引き上げた経緯があるが、商店街灯を所有する商店会の一部からは、電気料金の全額補助について意見が寄せられている。商店街の電気料金については、商店街灯があることで、安全・安心のまちづくりに貢献していると認められるため補助しているが、本来、商店会の所有物であることを勘案すると、商店会に一定の自己負担を求めることが適切である。また、LED化の観点からも、一定の自己負担を求めることで、電気料金の削減を意識してもらうことが重要である。 このことから、今後は現行の補助率を継続し、必要に応じて他区の動向を伺いながら対応していく。